区自治協議会提案事業 事業評価書 (案)

西区自治協議会

区 分	内 容	
テーマ・事業名	西区自治協議会シンポジウム 「空き家対策は地域づくり〜迷惑空き家にしないための取り組み〜」 【事業費予算 500千円】	
事業目的・概要	市民と市との協働の要として役割を果たしてきた西区自治協議会において、区自治協議会の活動を発信し、地域課題の解決に向けて、下記テーマにより、地域と共に考えるきっかけとなるようなシンポジウムを開催した。	
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数 など)	西区自治協議会シンポジウム 【日 時】 令和元年11月10日(日)午後2時40分~3時50分 【会 場】 西新潟市民会館2階多目的ホール 【テーマ】 「空き家対策は地域づくり~迷惑空き家にしないための取り組み~」 【内 容】 西区内自治会の取り組み事例や他都市の地域での空き家見守り活動等、実際に取り組みを行っている方からパネルディスカッション形式でお話いただいた。 【参加者】 140名	
事業の評価	【地域課題の抽出とその解決策】 多くの地域で、所有者が分からなく、管理が行き届かない「迷惑空き家」、いわゆる迷惑な空き家についてさまざまな悩みを抱えていると聞いており、地域での空き家見守り活動など、実際に取り組みを行っている方々から話を伺うシンポジウムを開催した。 【アンケート結果】	
地域課題の抽出方法や 企画立案の評価 事業の公益性・実効性・ 効率性の評価など	 調査方法:来場者を対象に当日アンケート配布を行い,退場時に無記名回答。 回答:106名 (1) 本日のシンポジウムはいかがでしたか	
	【気づいた点】 ・一旦、迷惑空き家になってしまうと、ねばり強い繰り返しの対応が必要となり大変だということがパネラーの苦労話を聞いてわかった。 ・迷惑空き家になる前の取り組みが大切と改めて感じた。 ・あいさつや声がけなど近所づきあいが基本。住んでいる時期も含めて所有者と良好な関係が大切ということがわかった。 ・空き家のリーフレットやさわやかトーク宅配便等を活用し、市の取り組みを知って欲しい。	
	【成果と課題】 ・アンケートの結果、「よかった・参考になった」との声が9割を超えた。 地域での空き家見守り活動など実際に取り組みを行っている方々の話を聞い てもらうことで空き家についての現状や課題について伝えることができた。 ・管理不全な空き家にしないため、所有者への意識啓発が必要と感じた。 ・区内の約1/4の自治会から参加いただいた。さらに多くの方へ知ってもら うために周知方法に工夫が必要と考える。	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

西区自治協議会

	西区自治協議会
区分	内容
テーマ・事業名	地域課題解決に向けた事業募集 【事業費予算 1,500 千円】
事業目的・概要	人口減少・少子高齢化の進展など社会経済情勢の変化や住民ニーズの多様化に伴い、地域課題が複雑化する中、地域の状況を的確に捉え、課題解決に向けて一層きめ細かに対応していくため、地域課題の解決に取り組む団体から、より高い効果が得られる事業を募集し、西区自治協議会と協働して実施する。
	①事業テーマ 地域の担い手育成(自治会、民生委員・児童委員)等
	【事 業 名】地域内の関係づくりと自治活動への参加を促す行事カレンダーづくり 【実施団体名】NPO法人まちづくり学校 【日時・会場】行程1 地域活動見直しワーク研修会 令和元年10月23日(水)午後7時~午後9時 西区役所健康センター棟1階104・105会議室 行程2 行事カレンダーづくり 令和元年12月2日(月)~令和2年2月5日(水)計4回(事前打合含) 内野平和台自治会館 【対 象】西区内自治会 【内 容】自治会向けの研修会、内野平和台自治会と行事カレンダー作成 【参 加 者】地域活動見直しワーク研修会 27自治会37名 行事カレンダーづくり 当該自治会:5名、見学:13名(6自治会7名、他6名)
NIC	②事業テーマ 支え合いのしくみづくりの輪を広める取り組み
事業の 実施実績 (実施回数, 参加者数など)	【事 業 名】「プログラミング教育」を通じた教育支援環境の構築と人材活用 【実施団体名】大人向けプログラミング勉強会 【日時・会場】保護者講座 令和元年12月21日(土)~令和2年2月29日(土) 計5回 新潟大学、健康センター棟3階大会議室、黒埼南部公民館 ほか 課外講座 令和元年11月28日(木)~令和2年1月31日(金) 計14回 五十嵐小学校PCルーム 【対 象】西区内の小学4~6年生、保護者 【内 容】学習指導要領に示されたプログラミング教育に用いられる3つの手法を体験 【参 加 者】164名(保護者講座:5回143名、課外講座:14回21名)
	③事業テーマ 区の魅力発信・賑わい創出
	【事業名】西区の歴史・文化・技術の記憶を200年後の未来の人々へつなぐ 【実施団体名】越後新川まちおこしの会 【内 容】開削200周年を迎えた「新川」の歴史を紹介する映像を作成 ・上映会 令和2年2月15日(土)午後2時~ 内野まちづくりセンター ・DVDを区内を中心に小中学校へ配布・貸出用として図書館に設置 【参加者】上映会約280名(会場内200名、ロビー80名) 会場に入れずお帰りになった方約50名

【地域課題の抽出とその解決策】

重点的に取り組む地域課題を抽出し、それらの解決に資する提案を公募し、提案団体と協働して実施した。

【アンケート結果:一部抜粋】

- ①回答:29名(研修会参加者)
 - ・内容についての満足度[とても満足・満足]…34% [どちらとも言えない]…48% →理解できなかったとの意見もあったため、補足資料を送付し内容を補完した。 行事カレンダーづくりを実施した自治会
 - ・各世帯に配布することで、自治会の活動計画等が日々目に入り、自治会に対する 関心は増えるものと思われる

事業の評価

地域課題の抽出方法 や企画立案の評価 事業の公益性・実効性 ・効率性の評価など ②回答:141名(保護者講座参加者)

- ・大学生や地域の大人からの指導は楽しかったか[とても楽しかった・楽しかった]…91%
- ・体験会が地域で開催されたら、また参加したいか「参加したい・どちらかといえば]…89%
- ③回答:64名(上映会参加者)
 - ・上映会の感想[とても良かった、良かった、普通]…86%
 - ・今年が新川開削から200年であることを知っていたか[知らなかった]…50%
 - ・内容を家族や知人に伝えていきたいか[伝えたい]…94%

【良かった点】

- ・ノウハウのある地域活動団体と協働することで、効果的に課題解決ができた。
- ・これまで持ちえなかった発想を活かした課題解決ができた。

【改善点】

・自治協・事務局と提案者の間で、課題解決の手法に対するイメージのズレていたため、期待する手法の更なる詳細審議が必要。

備考

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

西区白治協議会

	四四日沿肠藏色		
区	分	内容	
テーマ	•事業名	第7回西区アートフェスティバル+音届 【事業費予算 1,800 千円】	
事業目	的∙概要	【目的】 ・西区全体の文化風土を耕して区民の一体感を醸成する。 ・西区でアートの表現活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供し、幅広い区民から知ってもらう。 ・大学の存在をはじめ、学術・文化豊かな西区のパワーを発信する。 ・西区の魅力を発信する。 【概要】 ・西区自治協議会と新潟大学が共催で実施。 ・音楽芸能団体の発表の場として、また、西区にちなんだ多様なアート作品展示により、西区の宝を共有するイベントを開催し、併せて、新潟大学の学生が企画・運営した親子で楽しむ参加型のクラシックコンサートを開催。	
(実施回	実施実績 数、参加 など)		
 地域課題の 画立案	か 評価 大価 大価 大価 大価 大金 生・実効性・効 と・弾価など	➤アートフェスティバルはいかがでしたか [とても良い…60.2%、まあまあ良い…22.8%、ふつう…2.4%、やや不満…0.5%、不満…0.0%、無回答… 14.1%] 【評価(成果)】 ・様々なジャンルの出演団体を織り交ぜ、最初から最後まで楽しんで観ていただくことができた。・新たな試みのロビー演奏は、間近で演奏を聴けて良かったとの声が聞かれた。・例年と会場が異なり駐車場スペースが少なかったにも関わらず、一定の入場者を確保することができた。・アート展示について、ギャラリースペースがある会場だったので展示や照明の当て方を工夫でき、来場者から好評の声を多数いただいた。・障がい者が制作したアール・ブリュット作品や区内小学生の自由研究優秀作品について、出品数を増やすことで、多くの方から自身の作品展示を喜んでいただくとともに、関係者からも多数ご来場いただいた。 【改善点】 ・一部演奏途中の退席や私語などが見受けられたので、表示やアナウンスなど工夫する必要がある。	
		・一部演奏途中の退席や私語などが見受けられたので、表示やアナウンスなど工夫する必要がある。 ・アート作品展示では、作品の説明や障がい者施設などの紹介など、来場者に分かりやすいよう工夫する 必要がある	

・引き続き、新規の企画内容を盛り込む等マンネリ化を防ぐ工夫と、より一層PRに努める必要がある。

必要がある。

Oおやこでクラシック

【地域課題の抽出とその解決策】

親子向けにクラシックをより身近に感じてもらえるよう、需要のある親子参加型のコンサートを開催した。新潟大学の学生が企画・運営し、学術・文化豊かな西区の魅力を発信できた。

【アンケート結果】

- ◆調査方法:来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に無記名回答。
- ◆有効回答:87名(有効回答率50.9%)
- ➤おやこでクラシックはいかがでしたか

[非常に良い…40.2%、良かった…54.0%、どちらともいえない…0.0%、良くなかった…0.0%、無回答…5.7%]

【評価(成果)】

- ・0歳から3歳児の親子連れの参加者が多く、その世代に合ったプログラムで非常に良かった。
- ・小さい子どもと一緒に行けるコンサートが少ないため、参加者から大変喜ばれた。

【改善点】

- ・体験楽器や装飾品があると良かった。
- ・会場の準備時間を十分に確保する必要である。

〇事業全体

【評価(成果)】

- ・初めて自治協議会と大学が共催で実施し、地域と学生との連携によりイベントを遂行することができ、学生にとってもいい学びの場となった。
- ・大学と連携することにより、様々な世代に喜ばれる企画を盛り込み、機能的に事業を行うことができた。
- ・自治協委員や学生が運営スタッフとして携わり、また、部会長もナビゲーターとして次のステージのつなぎ役として努めたことにより、より楽しく親近感のあるイベントとすることができた。

【改善点】

・来場者が1つだけでなく多数の企画に参加しやすいような工夫が必要である。

備考